



インベスコ投信投資顧問、  
「インベスコ 日本株式アドバンテージ・ファンド」  
(愛称:なるほど! ニッポン)を2013年8月1日より募集開始  
- ‘持ってる’ 日本企業を厳選し集中投資 -

2013年7月16日

インベスコ投信投資顧問株式会社(代表取締役社長兼 CEO:佐藤秀樹、所在地:東京都港区)は、主としてわが国の金融商品取引所に上場されている‘持ってる’日本企業(持続的な競争優位性を持つ日本企業)の株式に投資を行い、投資信託財産の中長期的な成長を目指す公募投資信託「インベスコ 日本株式アドバンテージ・ファンド【愛称:なるほど! ニッポン】(追加型投信/国内/株式)(以下、『なるほど! ニッポン』といいます。))を2013年8月1日より募集開始し、新規に設定・運用する旨を発表しました。当ファンドの当初募集期間は、2013年8月1日から8月22日まで、設定日は8月23日を予定しています。当初の募集は、SBI証券、ひろぎんウツミ屋証券、マネックス証券、楽天証券(アイウエオ順)の4社にて行われます。

『なるほど! ニッポン』の主な特色は以下の通りです。

- ① 企業訪問を基本とする徹底したファンダメンタルズ調査・分析により個別銘柄を選別するボトムアップ・アプローチによる運用を行います。
- ② 企業のファンダメンタルズ調査・分析に当たっては、持続的な競争優位性を生み出す源泉として無形価値(ブランド力、技術開発力、顧客基盤など)に着目し、その有効活用による強固なフリー・キャッシュフローの創出能力を重視することで、株主価値を高める優良企業の発掘に努めます。
- ③ ポートフォリオの構築に当たっては、予想フリー・キャッシュフロー利回りを重視した株価の割安度や株式の流動性等を勘案し、厳選投資を行います。

『なるほど! ニッポン』と同じ運用チームが運用する類似の運用戦略によるルクセンブルグ籍のファンドは、良好な運用実績を持ち、現地のモーニングスター社から最高ランクの5つ星を獲得する等評価機関からも高い評価を得ています。\*こうした実績を基に、投資家の皆様から高い支持を得て、2012年には年間を通して、運用残高が約3倍の規模に拡大し、その後も拡大を続け運用戦略全体の純資産総額は2,500億円超を誇ります。(2013年6月末現在)

代表取締役社長兼CEOである佐藤秀樹は、『なるほど! ニッポン』の募集開始に関して次のように述べています。「この度、多くの皆様のご要望にお応えしてインベスコ 日本株式アドバンテージ・ファンド(愛称:なるほど! ニッポン)を日本の一般投資家の皆様にご提供できる運びとなりましたことを非常に嬉しく思います。『なるほど! ニッポン』を運用する運用チームが運用する類似運用戦略は、これまでの優れた運用実績から既に国内外の年金基金、機関投資家の皆様や第三者の評価機関から高い評価を頂戴しています。『なるほど! ニッポン』が投資家の皆様の中長期の資産形成のお役に立てるものと確信しております。」

以上

\* Copyright © 2012-2013 "Morningstar UK Limited" All Rights Reserved. 著作権等の知的所有権その他一切の権利はモーニングスター並びにコンテンツ提供者に帰属し、許可なく複製、転載、引用することを禁じます。また、情報の正確性、完全性等について保証するものではありません。モーニングスター並びにコンテンツ提供者は、当情報の利用に関して発生したいかなる損失に対しても責任を負いません。過去の運用実績は、将来の運用成果を保証するものではありません。当資料は参考情報であり、上記ファンドの売買を推奨するものではありません。また、評価機関からの評価は、現地の類似のファンドとの比較において授与されているものであり、当ファンドでの受賞ではなく、また将来の当ファンドでの受賞を保証するものではありません。

本件に関するお問い合わせ先: 広報担当 入江淳一 電話03-6447-3158

## インベスコについて

インベスコは、世界中の人々の経済的安定に貢献することを使命とし、グローバルな運用力を提供する世界有数の独立系資産運用会社です。インベスコは、グローバル市場で培った特色ある運用力を強みとするブランドを傘下に収め、世界中の個人投資家、機関投資家、富裕層の顧客の資産運用ニーズに対し、グループの総合力を結集して包括的な解決策を提供しています。インベスコは、世界 20 カ国以上に拠点を置き、ニューヨーク証券取引所に上場しています(証券コード:IVZ)。インベスコに関する詳しい情報は、ウェブサイト [www.invesco.com](http://www.invesco.com) (英語) で入手することができます。

インベスコ投信投資顧問株式会社はインベスコ・リミテッドの日本拠点です。インベスコ投信投資顧問株式会社は、内外の公的年金・企業年金、事業法人、銀行や保険会社など機関投資家を対象に、株式や債券などの伝統的な投資戦略からオルタナティブなど非伝統的な投資戦略まで幅広い商品およびサービスを提供しています。また、銀行・証券会社・保険会社などを通じて個人投資家向けの投資信託およびサービスを提供しています。インベスコ投信投資顧問株式会社に関する詳しい情報は、ウェブサイト [www.invesco.co.jp](http://www.invesco.co.jp) で入手することができます。

## その他の留意事項

当資料はインベスコ投信投資顧問株式会社が設定・運用する投資信託についてお伝えすることのみを目的として作成したプレスリリースであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当資料は信頼できる公開情報に基づいて作成されたものですが、その情報の確実性あるいは完結性を表明するものではありません。

投資信託は、主として国内外の株式や公社債などの値動きのある証券を投資対象とし、投資元本が保証されていないため、当該資産の市場における取引価格の変動や為替の変動などにより投資一単位当たりの価値が変動します。したがって、お客さまのご投資された金額を下回ることもあります。投資信託は預貯金とは異なります。また、投資信託は、個別の投資信託ごとに投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国などが異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、ご投資に当たっては目論見書や契約締結前交付書面をよくご覧ください。

【ご参考1】「なるほど！ニッポン」のポイント（販売用資料より抜粋）

「なるほど！ニッポン」のポイント

インベスコ 日本株式アドバンテージ・ファンド、愛称：なるほど！ニッポンは、**‘持っている’日本企業に集中投資**することで、投資信託財産の中長期的な成長を目指すファンドです。



「なるほど！ニッポン」の三大ポイント



**‘持っている’日本企業を厳選**

- ・持続的な競争優位性を**‘持っている’日本企業**を厳選



**勇気と確信をもって‘持っている’日本企業に集中投資**

- ・規模の大きさや知名度に捉われない投資先銘柄



**類似運用戦略での良好なパフォーマンス実績\***

- ・国内外の機関投資家からの高い評価と支持

\*類似運用戦略のパフォーマンス実績とは、2005年12月31日を評価開始とするTOPIX（配当込み）をベンチマークとする日本株式アドバンテージ運用のコンボジットを指します。詳細は当資料の14ページをご覧ください。

2

当資料ご利用の際は、最終頁の<<当資料お取扱いのご注意>>をご覧ください。

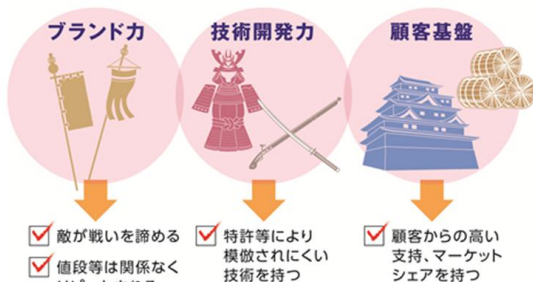
【ご参考2】勝ち進む‘持っている’日本企業（販売用資料より抜粋）

勝ち進む‘持っている’日本企業

様々な時代や市場環境の変化、あるいは、危機を乗り越えて企業価値を増大させている企業は、熾烈な企業間競争で戦うための武器や防具となる**持続的な競争優位性**を持ち、勝ち進んでいます。

勝ち進む‘持っている’日本企業

ブランド力、顧客基盤、技術開発力などの無形価値をもつ企業は持続的な競争優位性を持ちます。



持続的な競争優位性で勝ち進む



持続的な競争優位性を**‘持っている’日本企業** ➡ 勝ち進む ➡ 株価上昇への期待



株価上昇を期待させる**‘持っている’日本企業！**

3

当資料ご利用の際は、最終頁の<<当資料お取扱いのご注意>>をご覧ください。

インベスコ投信投資顧問株式会社  
〒106-6114  
東京都港区六本木六丁目10番1号  
六本木ヒルズ森タワー14階  
Telephone 03-6447-3000

### 【ご参考3】商品概要

ファンド名	インベスコ 日本株式アドバンテージ・ファンド（愛称:なるほど！ニッポン） （以下「ファンド」ということがあります。）
商品分類	【目論見書等表紙記載商品分類】追加型投信／国内／株式／－／－ 【商品属性区分】その他資産（投資信託証券（株式 一般）／年 1 回／日本／ファミリーファンド／－／－／－
基本方針	投資信託財産の成長を図ることを目標として運用を行います。
主要投資対象	【インベスコ 日本株式アドバンテージ・ファンド】 「インベスコ 日本株式アドバンテージ マザーファンド」（以下「マザーファンド」ということがあります。）受益証券を主要投資対象とします。  【インベスコ 日本株式アドバンテージ マザーファンド】 わが国の金融商品取引所に上場されている株式（上場予定を含みます。以下同じ。）を主要投資対象とします。
主な投資態度	【インベスコ 日本株式アドバンテージ・ファンド】 ① 主として「インベスコ 日本株式アドバンテージ マザーファンド」受益証券への投資を通じて、わが国の金融商品取引所に上場されている株式に投資を行います。 ② マザーファンド受益証券の組入比率は、原則として高位を維持します。 ③ TOPIX（東証株価指数）（配当込み）をベンチマークとします。 ④ 非株式割合（株式以外への資産への実質投資割合）は、原則として投資信託財産総額の 50%以下とすることを基本とします。 ⑤ 資金動向、市況動向の急激な変化が生じたとき、およびこれに準ずる事態が生じたとき、あるいは投資信託財産の規模が上記の運用を行うに適さないものとなったときは、上記の運用ができない場合があります。 ⑥ 投資状況により、マザーファンドと同様の運用を行う場合があります。  【インベスコ 日本株式アドバンテージ マザーファンド】 ① 主として、わが国の金融商品取引所に上場されている株式に投資を行います。 ② 企業訪問を基本とする徹底したファンダメンタルズ調査・分析により個別銘柄を選別するボトムアップ・アプローチに基づく運用を行います。 ③ 企業のファンダメンタルズ調査・分析に当たっては、持続的な競争優位を生み出す源泉として無形価値（ブランド力、技術開発力、顧客基盤など）に着目し、その有効活用による強固なフリー・キャッシュフローの創出能力を重視することで、株主価値を高める優良企業の発掘に努めます。 ④ ポートフォリオの構築に当たっては、予想フリー・キャッシュフロー利回りを重視した株価の割安度や株式の流動性等を勘案し、厳選投資を行います。 ⑤ TOPIX（東証株価指数）（配当込み）をベンチマークとします。 ⑥ 株式の組入比率は、原則として高位を維持します。 ⑦ 非株式割合（株式以外の資産への投資割合）は、原則として投資信託財産総額の 50%以下とすることを基本とします。 ⑧ 資金動向、市況動向の急激な変化が生じたとき、およびこれらに準ずる事態が生じたとき、あるいは投資信託財産の規模が上記の運用を行うに適さないものとなったときは、上記の運用ができない場合があります。
ベンチマーク	TOPIX（東証株価指数）（配当込み）
主な投資制限	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ マザーファンド受益証券への投資割合には制限を設けません。</li> <li>・ 株式への実質投資割合には、制限を設けません。</li> <li>・ 同一銘柄の株式への実質投資割合は、取得時において投資信託財産の純資産総額の 10%以下とします。</li> <li>・ 外貨建資産への実質投資は行いません。</li> <li>・ 投資信託証券（マザーファンド受益証券を除きます。）への実質投資割合は、投資信託財産の純資産総額の 5%以下とします。</li> </ul>

インベスコ投信投資顧問株式会社

〒106-6114

東京都港区六本木六丁目 10 番 1 号

六本木ヒルズ森タワー14 階

Telephone 03-6447-3000

	<ul style="list-style-type: none"> <li>デリバティブ取引の利用は、ヘッジ目的に限定します。</li> </ul>																									
投資リスク (基準価額の変動要因)	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 株価の変動リスク(価格変動リスク・信用リスク)</li> <li>② 中小型株式への投資リスク</li> <li>③ 流動性リスク</li> </ul>																									
信託期間	約10年間(平成25年8月23日から平成35年8月10日まで)																									
償還条項	信託設定日より1年を経過した日以降において、信託契約の一部解約により、受益権の総口数が30億口を下回ることとなった場合等は、信託期間の途中で信託を終了させることがあります。																									
決算日	<p>【インベスコ 日本株式アドバンテージ・ファンド】 年1回(原則8月10日。同日が休業日の場合は翌営業日) ただし、第1計算期間は平成25年8月23日から平成26年8月11日までとします。</p> <p>【インベスコ 日本株式アドバンテージ マザーファンド】 年1回(原則8月10日。同日が休業日の場合は翌営業日) ただし、第1計算期間は平成25年6月28日から平成26年8月11日までとします。</p>																									
収益分配	<p>毎決算時に、原則として以下の方針に基づき収益の分配を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 分配対象額の範囲は、経費控除後の繰り越し分を含む配当等収益および売買益(評価益を含みます。)等の全額とします。</li> <li>② 分配金額は、委託者が、基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合は分配を行わないこともあります。</li> <li>③ 留保益の運用については、特に制限を設けず、委託者の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。</li> </ul>																									
信託報酬	<p>投資信託財産の純資産総額に、年率1.785%(税抜1.70%)を乗じて得た額とします。</p> <p>信託報酬の配分は、販売会社ごとの取扱純資産残高に応じて、以下の通りとします。</p> <p style="text-align: right;">(年率)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 25%;">販売会社ごとの取扱純資産残高</th> <th style="width: 25%;">委託会社</th> <th style="width: 25%;">販売会社</th> <th style="width: 25%;">受託会社</th> <th style="width: 20%;">合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>50億円以下の部分</td> <td>0.9450% (税抜0.90%)</td> <td>0.7875% (税抜0.75%)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>50億円超 100億円以下の部分</td> <td>0.8925% (税抜0.85%)</td> <td>0.8400% (税抜0.80%)</td> <td>0.0525% (税抜0.05%)</td> <td>1.785% (税抜1.70%)</td> </tr> <tr> <td>100億円超 300億円以下の部分</td> <td>0.8400% (税抜0.80%)</td> <td>0.8925% (税抜0.85%)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>300億円超の部分</td> <td>0.7875% (税抜0.75%)</td> <td>0.9450% (税抜0.90%)</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	販売会社ごとの取扱純資産残高	委託会社	販売会社	受託会社	合計	50億円以下の部分	0.9450% (税抜0.90%)	0.7875% (税抜0.75%)			50億円超 100億円以下の部分	0.8925% (税抜0.85%)	0.8400% (税抜0.80%)	0.0525% (税抜0.05%)	1.785% (税抜1.70%)	100億円超 300億円以下の部分	0.8400% (税抜0.80%)	0.8925% (税抜0.85%)			300億円超の部分	0.7875% (税抜0.75%)	0.9450% (税抜0.90%)		
販売会社ごとの取扱純資産残高	委託会社	販売会社	受託会社	合計																						
50億円以下の部分	0.9450% (税抜0.90%)	0.7875% (税抜0.75%)																								
50億円超 100億円以下の部分	0.8925% (税抜0.85%)	0.8400% (税抜0.80%)	0.0525% (税抜0.05%)	1.785% (税抜1.70%)																						
100億円超 300億円以下の部分	0.8400% (税抜0.80%)	0.8925% (税抜0.85%)																								
300億円超の部分	0.7875% (税抜0.75%)	0.9450% (税抜0.90%)																								
その他の手数料等	<ul style="list-style-type: none"> <li>信託事務の諸経費として、有価証券の売買委託手数料などについて、投資信託財産中から実費を支払うものとします。これらの費用は運用状況などによって変動するため、事前に具体的な料率、金額または計算方法を記載できません。</li> <li>諸費用(監査費用、目論見書・運用報告書の作成、印刷、交付にかかる費用など)については、投資信託財産の純資産総額の年率0.105%(税抜0.1%)を上限として投資信託財産中から支払うものとします。</li> </ul>																									
申込コース	<p>販売会社が定めるものとします。</p> <p>&lt;分配金受取りコース&gt; 収益の分配時に収益分配金を受取るコース</p> <p>&lt;分配金再投資コース&gt; 収益分配金が、税引後自動的に無手数料で再投資されるコース</p>																									

**インベスコ投信投資顧問株式会社**  
 〒106-6114  
 東京都港区六本木六丁目10番1号  
 六本木ヒルズ森タワー14階  
 Telephone 03-6447-3000

購入単位	販売会社が定めるものとします。 (ただし、「分配金再投資コース」において収益分配金を再投資する場合は、1口単位とします。)
購入価額	購入の申込受付日の営業日の基準価額（当初申込期間は1口当たり1円） ただし、「分配金再投資コース」において収益分配金を再投資する場合の購入価額は、ファンドの各計算期間終了日の基準価額とします。
申込手数料	購入の申込受付日の基準価額(当初申込期間は1口当たり1円)に、販売会社が定める5.25%(税込)以内の申込手数料率を乗じて得た額とします。
換金方法	解約請求により換金のお申込みができます。
換金単位	販売会社が定めるものとします。
換金価額	換金の申込受付日の基準価額とします。
換金手数料	ありません。
クローズド期間	ありません。
信託財産留保額	ありません。
換金代金の支払い	原則として、換金請求の申込受付日から起算して5営業日目から販売会社でお支払いします。
申込不可日	ありません。
申込受付について	原則として、購入または換金の申込が可能な営業日の午後3時までには申込みが行われ、かつ当該申込みの受付にかかる販売会社所定の事務手続きが完了したものを当日の申込受付分とします。
募集金額	当初申込期間:当初申込金額は、300億円を上限とします。 継続申込期間:継続申込金額は、1兆円を上限とします。
信託金限度額	信託金限度額は、1,000億円とします。 (マザーファンドの信託金限度額は、3,000億円とします。)
申込期間	当初申込期間は、平成25年8月1日から平成25年8月22日までとします。 継続申込期間は、平成25年8月23日から平成26年11月6日とします。
設定日	平成25年8月23日
益金不算入制度	適用あり 【外貨建資産割合】0% 【非株式割合】50%以下
ファンド監査	あり(年1回、毎年8月の決算時、あらた監査法人)
運用報告書	毎年8月の決算時に作成し、交付します。
委託会社	インベスコ投信投資顧問株式会社
販売会社	SBI証券、ひろぎんウツミ屋証券、マネックス証券、楽天証券
受託会社	三菱UFJ信託銀行株式会社 (再信託受託会社:日本マスタートラスト信託銀行株式会社)
日本経済新聞掲載略語	なるほど日本
英文名称 (社内使用)	Invesco Japan Equity Advantage Fund (Public) Invesco Japan Equity Advantage Mother Fund

**インベスコ投信投資顧問株式会社**  
 〒106-6114  
 東京都港区六本木六丁目10番1号  
 六本木ヒルズ森タワー14階  
 Telephone 03-6447-3000